



上賀茂だより

令和5年10月31日(火)

京都市立上賀茂小学校

校長 滝山 泰教

学校教育目標「人とつながり、自らの未来を創造する子どもの育成」

～ 自ら、考え、判断し、実行する ～

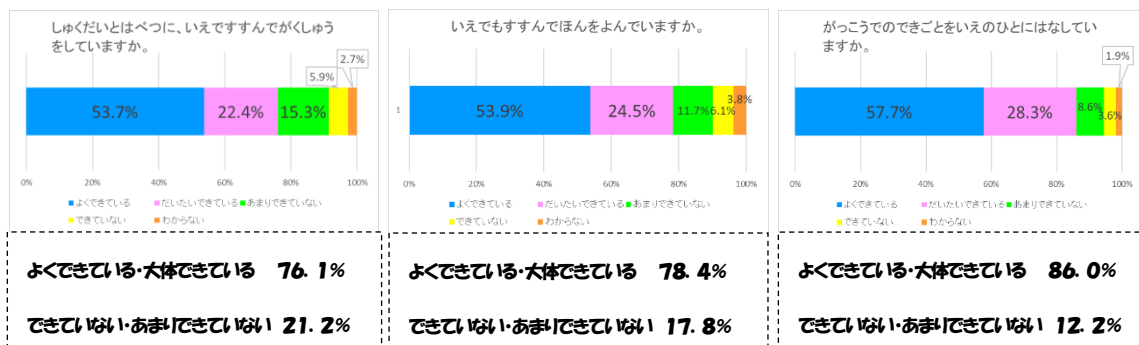
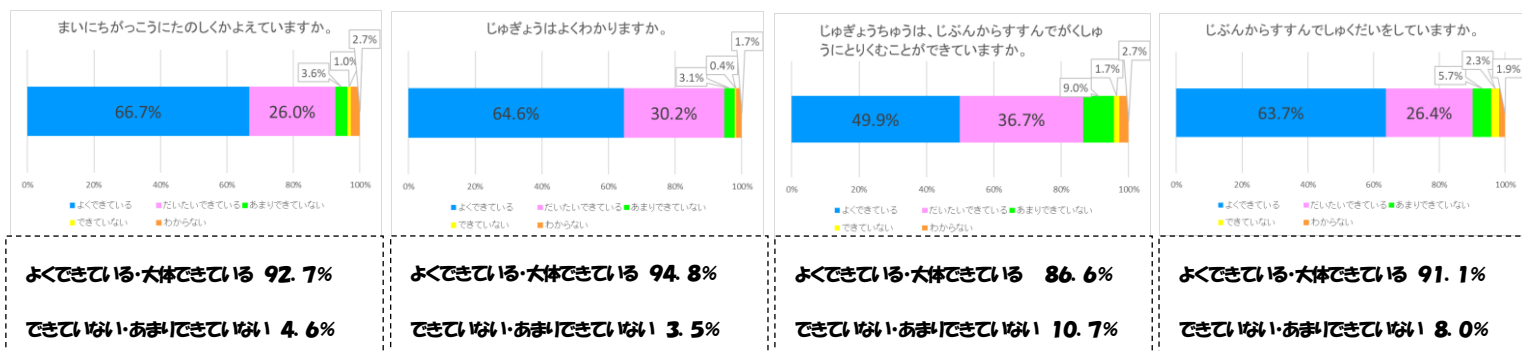
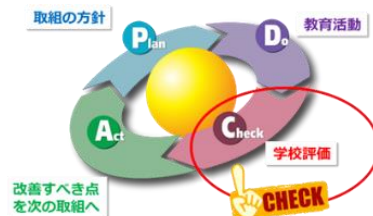


第1回 学校評価号

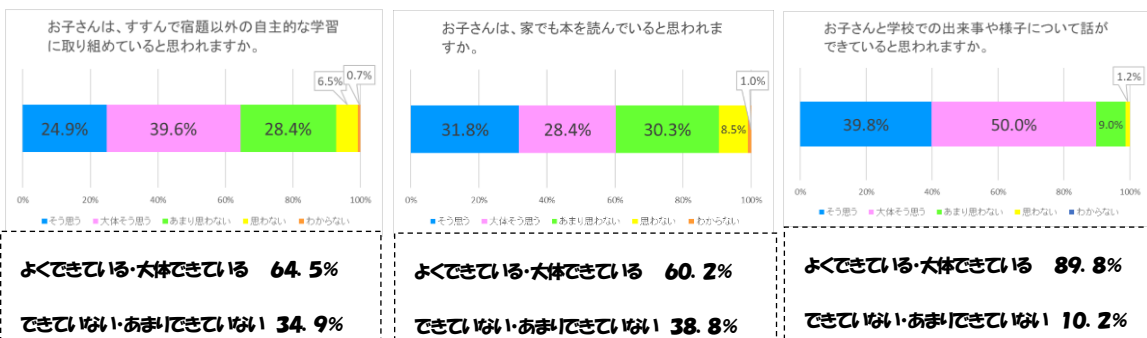
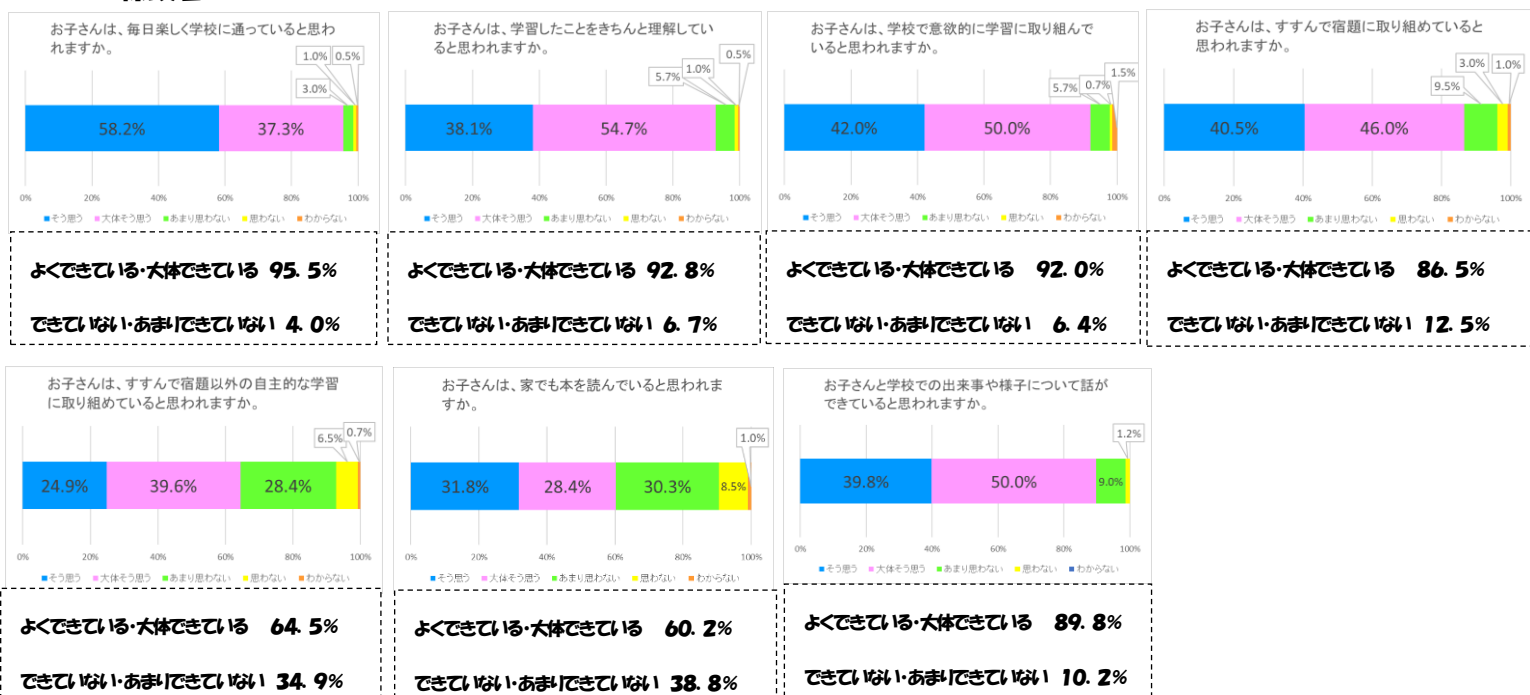
令和5年度 第1回学校評価結果について

令和5年度第1回学校評価を実施いたしました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。いただいたご意見は今後の学校教育活動に活かしていきたいと思ひます。

確かな学力 <児童>



<保護者>



〇昨年度との比較

できている割合とできていない割合は児童も保護者も全体的に昨年度と似た傾向にあり、大きな変化はありませんでした。しかし、保護者において、「お子さんは学校で意欲的に学習に取り組んでいると思われますか」という項目のみ、63.1%から92%と昨年度より大幅にできている割合が増えていました。

〇できている割合が高い項目

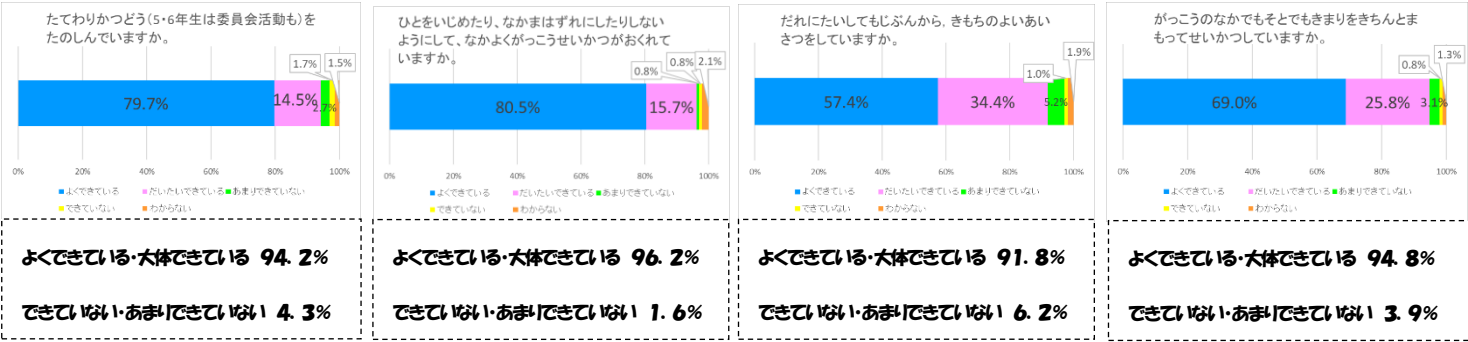
「毎日学校に楽しく通えていますか」という項目では、できている割合が高く、児童においては90%以上、保護者においては95%に達しています。また、児童のみの項目「授業はよくわかりますか」という項目では、約95%ができていると回答しています。

〇できている割合が低い項目

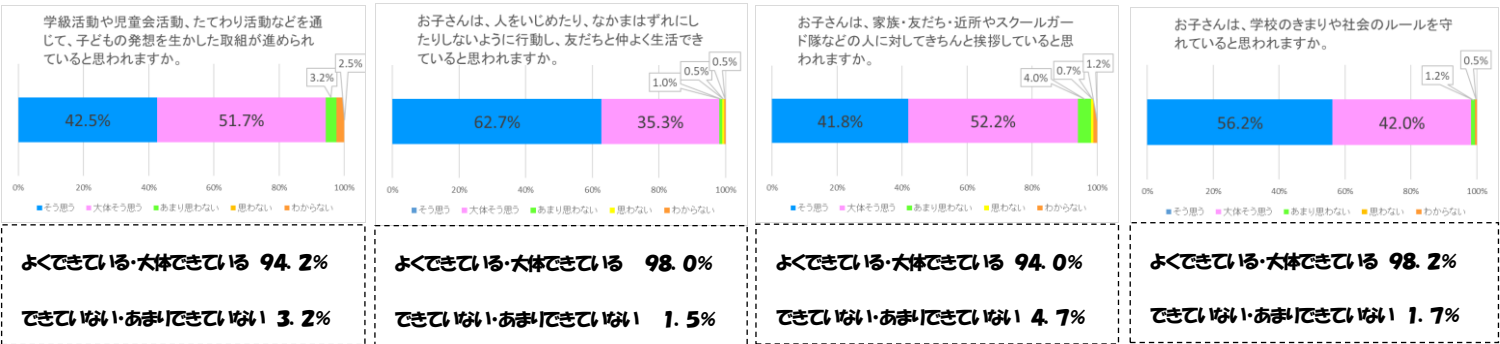
「宿題とは別に、家で進んで学習をしていますか」「家でも進んで本を読んでいますか」の2項目は、他の項目に比べてできている割合が低く、児童においては、どちらも80%を満たしていませんでした。保護者においては、できている割合が60%前半と低くなっていました。児童以上に保護者の方はできていないと感じておられることがわかります。

どちらの項目も与えられた課題とは別に自主的に学習する姿勢を身につけることにつながる項目です。自分の課題を見つけたり、長所を知ってもっと伸ばしたいところを見つけたりすることは大切です。そこから、自分が必要だと思う学習やもっとやってみたい学習を見つけたり取捨選択したりして自主的に取り組んでいきます。このような自学自習をする力はこれから子どもたちに身につけてほしい力です。子どもたちには、体を思いっきり動かしてたくさん遊んだり運動したりする時間も大切です。好きなことをしたり家族や友だちと過ごしたりする時間も大切です。大人が思う以上に忙しい子どもたちが、限られた時間を上手に使って充実した毎日を過ごせることが何よりだと感じます。

豊かな心 <児童>



<保護者>



〇昨年度との比較

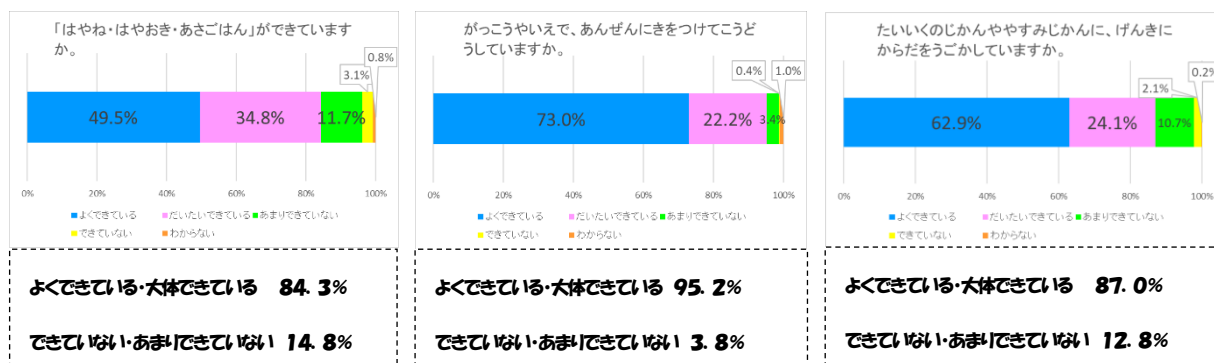
児童においては、できている割合とできていない割合が全体的に昨年度と似た傾向にあり、大きな変化はありませんでした。保護者においては、「学級活動や児童会活動、たてわり活動などを通じて、子どもの発想を生かした取組が進め

られていると思われますか」「お子さんは、家族・友だち・近所やスクールガード隊などの人に対してきちんと挨拶していると思われますか」という2つの項目において、昨年度より約10%できている割合が増えています。

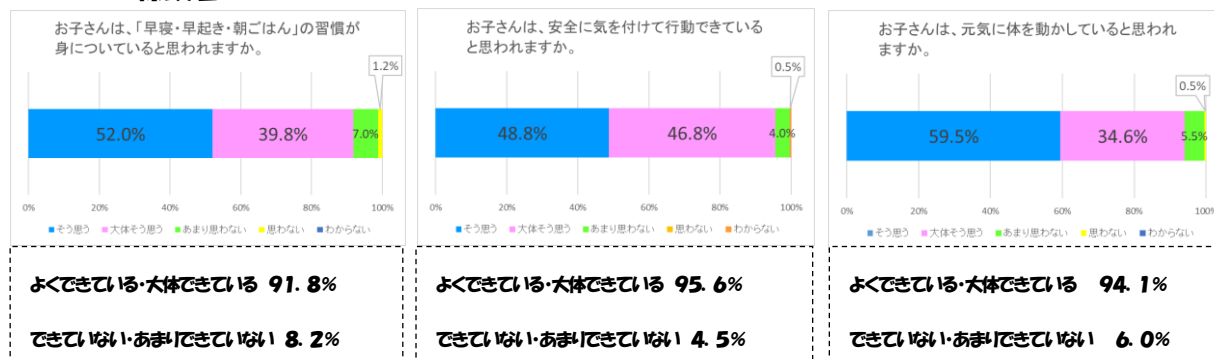
〇できている割合が高い項目

どの項目もできている割合が90%を超えています。加えて、「よくできている」割合が過半数を占めており、「人をいじめたり、仲間外れにしたりしないようにして、仲良く学校生活を送れていますか」という項目においては80%に達しています。自己評価で自信をもってできていると答えられることは、子どもたちが友だちを大切にしていると感じながら日々を過ごせているのだと思います。しかし、児童の1.6%の「できていない」「あまりできていない」をはじめ、15%の「だいたいできている」についても、「いつも」「常に」大事にできているわけではない、と捉えることができます。誰もが安心して楽しく学校生活を送るために、さらに、お互いの存在を大切にすることを心がけてほしいと思います。また、どのような言動が友だちを大切に、どのような言動が友だちを大切にしていないことに繋がるのか、学校教育活動のあらゆる場面において考えられるようにしていきたいと思います。ご家庭でも、話題にいただけたら幸いです。

健やかな体 <児童>



<保護者>



〇昨年度との比較

児童においては、できている割合とできていない割合が全体的に昨年度と似た傾向にあり、大きな変化はありませんでした。保護者においては、早寝・早起き・朝ごはんについての項目では、昨年度より約7%できる割合が増えています。また、安全に気を付けている・元気に体を動かしているという2項目については、昨年度より約5%できる割合が増えています。

〇できている割合が高い項目

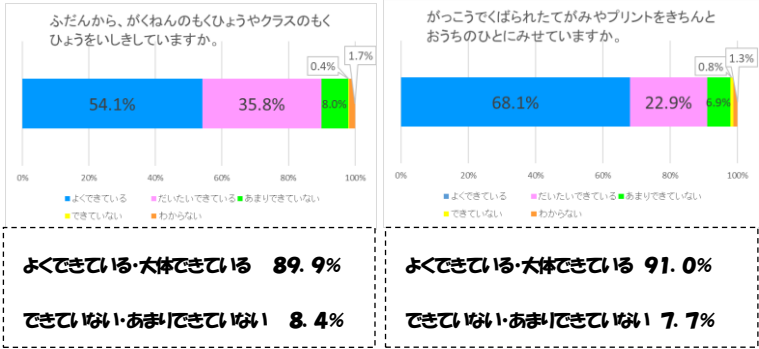
「学校や家で、安全に気を付けて行動していますか」という項目は、児童も保護者もできている割合が95%に達しています。「体育の時間や休み時間に元気に体を動かしていますか」という項目については、回答期間が暑い時期でしたが、過半数以上の児童が「よくできている」と回答しています。休み時間の様子を見ていても、暑さに負け

ず元気に外遊びする様子が見られました。熱中症対策は十分に行いながら、子どもたちが体を十分に動かす機会を大事にしていきたいと思います。

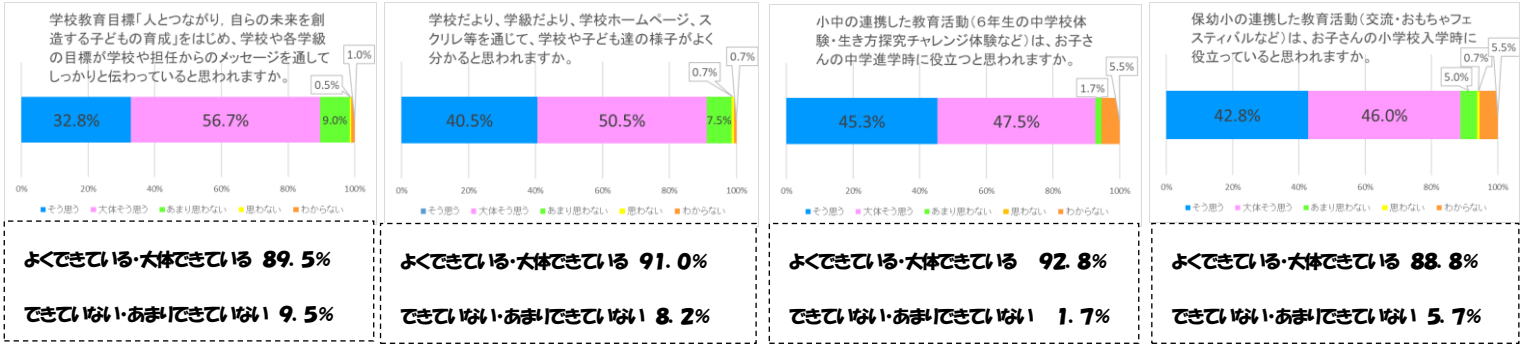
〇できている割合が低い項目

低いとは言えないと思いますが、児童の「早寝・早起き・朝ごはん」については、「よくできている」割合が過半数を割っています。また、できていない割合は約15%です。

学校独自の取組 <児童>



<保護者>



〇昨年度との比較

児童においては、できている割合とできていない割合が全体的に昨年度と似た傾向にあり、大きな変化はありませんでした。保護者においては、どの項目も昨年度より約10%できている割合が増えています。特に、保幼小の取組については、昨年度より13.7%もできている割合が増えており、入学前の取組が、入学後の子どもたちの安心に繋がっているのではないかと思います。

〇できている割合が高い項目

どの項目においても、できている割合は約90%です。児童において、よりよい学年・クラスを目指して、子どもたちと学年や担任の先生が一緒に考えた大切な学年やクラスの目標を意識できているのはよいことだと思います。2学期以降は、その意識を行動に表していくことも大事にしていきたいと思います。

【地域の皆様のご意見（全項目から）】

- ・アンケート結果から学校に楽しく通うことができている子がほとんどだが、学校を楽しく感じる事ができていない子にもしっかりと目を向け、寄り添ってほしいと思う。
- ・今年度も自分から元気に挨拶できる子が多いように感じる。学校全体としての取組としてこれからも継続してほしい。
- ・学校の水禍の学習や、地域の防災訓練の取り組みを通して、大切な命をいかにして守るかを今後も真剣に考えることができるようにしていきたい。

記述欄にもご意見をいただきありがとうございました。よりよい学校にしていくために、教職一同邁進してまいります。